

TAKE FREE

# バキュームミニカーはみんなのハートもバキューンした。



# MINI CARS STORY vol. 01

2020年に創業50年を迎えた東武商事株式会社は、産業廃棄物の中間処理や清掃・収集運搬などの業務、再生重油の販売を主な事業としております。  
同社が所有する強力吸引車は、さまざまな種類の液体を太いホースと強力なポンプで吸引できる車両で、各種メディアに取り上げられています。

東武商事株式会社  
“強力吸引車”



## 強力吸引車のご紹介

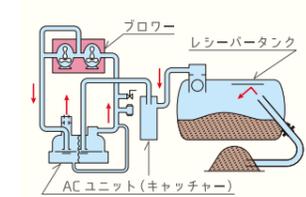
強力な空気の流れと真空力であらゆるものを吸引し大量に運搬します



大量の汚泥を強力な吸引でスピーディーに吸い上げ、安全かつ効率的に運搬します。



回収した吸引物は、ハッチを開けてダンパアップして排出します。



レシーバータンクとACユニット(キャッチャー)の完成度の高いメカニズムで、排気はクリーンに浄化されます。



現場状況や積載物の種類によって、レシーバータンクの後部から圧送排出を行います。

### 強力吸引車の使用用途

- ・汚泥の大量吸引
- ・汚泥の長距離吸引
- ・災害復旧作業
- ・道路側溝清掃
- ・集水マス、街渠マス清掃
- ・水路の浚渫作業
- ・河川の浚渫作業
- ・終末処理場の沈砂回収
- ・洗車場分離槽のスラッジ回収
- ・各種ピットの汚泥回収
- ・反応塔の触媒回収
- その他も様々な場所で活躍中!

## 強力吸引車ミニカー



### SPEC

- スケール: 1/64(全長約160mm)
- 可動部分: レシーバータンク上下可動、後部ハッチ開閉、タイヤ可動式
- 材質: 亜鉛合金、ABS、PVC、PS
- 彩 色: メタリックカラー使用(実車の鉄板を工場に送り、色を調合)
- 付属品: ドラム缶、作業員フィギュア(ミニカーと同じ縮小率)
- 小冊子(会社案内と実車の説明)、取り扱い説明書
- 包装: 窓付きBOX、プリスター
- 制作台数: 3000台
- 制作期間: 約11ヶ月

その他にもミニカー制作実績多数あります。御社の車両もオリジナルで制作できますので、一度ご連絡ください。



03-5781-6789

info@mini-factory.co.jp (担当: 羽山)

### 株式会社ミニチュアファクトリー

企業の周年記念品や販売商品として、オリジナルのミニカー制作をおこなっております。  
実車に忠実な再現を大事に、専門のスタッフが工場と密接なやりとりをおこない製造に取り組んでおり、2003年の創業時から40車種、50万台を超える制作実績があります。



東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井 1-20-1  
本社 〒460-0011 名古屋市中区大須 1-24-51 パウハウス大須 2F  
https://www.mini-factory.co.jp



ミニカーズストーリー vol.01  
企画・制作・発行/株式会社 ミニチュアファクトリー  
取材/文/羽山進  
撮影/ミスター(恒川憲一)  
デザイン/廣瀬文洋  
編集/井上陽介

編集後記  
妥協をしない姿勢が会社を動かすミニカーを制作する上で、どの部分は制作して、どの部分は省くか、という点で決定が必要なおこと多いため、チームで意見を取りまわすことがとても難しいです。  
東武商事様のメンバーはうまく役割分担ができており、途中、紆余曲折はありましたが、みんなが満足できる製品ができて、本当によかったと思います。  
メンバー全員が、本業ではないミニカー制作でも細かいところまでこだわり、妥協しない姿勢に、会社もまた従業員も頑張ろうという気持ちにつながる、廃棄物の循環利用に取り組む会社なので、会社内部でも良い循環を感じました。

# 試作品を見た時、

# 凄え

# って声が出た。



松本さん 薄井さん 滝瀬さん 坂井さん 広木さん 長尾さん

試作品を見て、一言、すげえ、それしかないもんなん。うん。

きつかけはもらっても捨てられないノベルティ

▼まずはミニカーを作るきつかけをお聞かせください。

広木：きつかけは子供向けの工場見学にノベルティとして何かないかということですが、那須総合リサイクルセンターの工場見学の際には消防自動車のテイスシュを配っているのですが、松伏スマートリサイクルシステム(略してMSRS)は火ではなくて水のものを扱っているで別のものを用意したいとのこと、始めました。

松本：MSRSには、光つて工程を説明するシオラマが入り口にあつて、その中に市販のミニカーを自社ヘントしたものがあります。それを見て、オリジナルのミニカーがあれば、子供でも遊べるし、もちろんそれをほいっと捨てる人もいないですし、飾ってもえれば、会社の評判にも宣伝にもなるかなと思つて、提案してみました。ミニカーはいいけど今のは小さすぎるので、だんだんだんだん大きく膨らんでいった

感じてですね。

プロジェクトにはみんな進んで立候補！

▼プロジェクトチームについてお聞きしたいんですが、メンバーはどのように選ばれたんですか？

広木：社長はミニカーを作るのならバキユムの車両でもう少し大きめで、ここにもないミニカーを作つて欲しい。

そこで、まず最初は松本と私が担当をするといつたんですが、副社長よりいろんな部署からメンバーを集めて、みんなの意見でいいものを作り上げてくれとのことでした。募集をしたところ、いろんな部署から手をあけてくれました。こちらから押したわけではなく、自発的に、強制ではありません。

薄井：私は立候補しました。やりたいです!!。こういったのがありますということ聞いて即答しました。

広木：あとは、車両に詳しい業務の部長さんに声をかけました。

滝瀬：もちろん参加しました。俺しかいないでしよつて。

実車のミニチュアを見せながら家族やお客様に仕事の説明ができる

▼自分の会社のトラックがミニカーになった、その感想を聞かせて

こだわつていたタンプアップもハッチの開閉も、複雑なパイプも、ひっくり返せば、スヘアタイヤまでついでますから笑

▼色がついてきた時のサンプルを見た時の印象はいかがでしたか？

長尾：一言、すげえですすよね。それしかないもんなあ。うん。すげえの一言。

広木：私も、すごいものが出来上がったなあという感じでした。

これを持って行った時の社長の喜びようというのがよかつたですね。おあーつて言いましたので。

▼一緒に梱包されている冊子やフィギュアについてはどうですか？

桑原：冊子は当社と産業廃棄物処理について、写真やイラスト、キャラクターを用い、なるべく平易な言葉を使つように心掛けたので子どもにも分かりやすくまとめたと思います。ミニカーの背景になるように、表紙を工場のイラストにしたのも良かったです。

ただけです

滝瀬：このミニカーを従業員たちはもらつて、何が出来るかについて、自分の仕事はこういうことをしているんだよって家族に説明ができるんですよ。普通だったから実際に見ることはないです。危険な作業も多いんで実車を目に見ることって少ないので、こういうふうな車を使つて、こういう仕事をしているんだよっていうのをあらためて伝えることができるのは大きいと思うんです。

坂井：私の場合人は事なんで採用関係とか、説明会のブースにこのミニカーひとつ置いてあるだけで興味持ってくれる学生は必ずいるのできつかけになったり、こういったミニカーを作ることもできる会社なんだよつてPRになる点でもよかつたなと思えます。

プロジェクトを完遂した達成感！私の仕事人生に爪痕を残せた

松本：実際やつてみると、やっぱり一年は長かつたですね。これだね。

ね。長尾：小冊子は車両の名称とかなるべく色々引掛かんないようにつて考えました。

以上二つのミニカー製作が社内をいい形で巻き込んで、はらはらドキドキの様々なドラマが生まれたメイキングヒストリーでした。苦勞してできたミニカーが社内のおちこちにケースに入つて飾つてあるのを見る度に熱い想いが甦るのではないのでしょうか？社員の皆さん本当にお疲れ様でした。

やるわネ

凄え



## 1 設計図面

TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.

▼1回目の彩色サンプルの際はキャブのみラメ塗装してあり、その他の部分は成形色の青色でした。その際に納期もギリギリの中、追加のコストと時間をかけてでも全体ラメ塗装するかどうかの議論になりました。

薄井：僕もキャブだけラメでもいいかなと思つたんですが、実際全部塗られたのを見たらびびりして、いやー、ほんと塗装してよかつた。運転席のドアの開閉は諦めました。最初からこだわつていたタンプアップとハッチの開閉、これが再現できたことが嬉しかったです。

滝瀬：男のロマンですよ、ね。いや、絶対塗るべきだね！つて言いました。色がついてくると、重厚感も出てきて、リアルさが出てくるよ。

松本：最初はでも正直これ以上お金をかけるくらいなら、そのままでいいんじゃないかメタリックにしてどう変わるんだ。実物で並べて、こっちがメタリックでこちらはメタリックなして、比べてどうがいいって選べる状況じゃなかつたんで、これにメタリックがついたら、こうなるのかくらいしか想像出来ないんで、そこに対してまたお金もかかる、だつたらやらなくてもいいんじゃないか、という正直な意見もありました。

滝瀬：このこだわりですか？全部です、全部！最初から

## 2 原型・金型



●原型  
原型出力見本。製品の元となる大事な工程です。製品のサイズ感、細部の可動構造など細かくチェックします。



●金型  
製品が綺麗に効率よく成型できるように繰り返し調整をします。材料により違いますが、数万ショットへの耐久性があります。

## 3 金型サンプル

彩色に入る前の形状の最終確認。さまざまな材料を使うため、パーツの干渉などがないかチェックします。



TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.



完成!!

